



電話機の基本的な管理手順

ここでは、次のアクションを実行するための最小限の基本的な設定手順について説明します。

- Cisco Unified Communications Manager への新しいユーザの追加
- その新規ユーザへの新しい電話機の設定
- そのユーザのその電話機への関連付け
- その他の基本的なエンドユーザの設定作業

この手順では、これらの作業を実行する1つの方法を示しますが、それがこれらの作業を実行する唯一の方法というわけではありません。ここで紹介するのは、新規ユーザを追加し、システム上で機能する電話機をそのユーザに関連付ける簡略な方法です。

これらの手順は、コーディング サーチ スペース、パーティション、およびその他の複雑な設定がすでに行われ、既存のユーザ用に整備されている安定した Cisco Unified Communications Manager システムでの使用を想定しています。

- [ユーザ情報の例, 1 ページ](#)
- [Cisco Unified Communications Manager ユーザの追加, 2 ページ](#)
- [電話機のセットアップ, 3 ページ](#)
- [エンドユーザの最終設定手順の実行, 8 ページ](#)

ユーザ情報の例

次の各手順では、可能な場合に、例を使って手順を示します。このような手順例では、サンプルとして次のユーザ情報と電話情報を使用します。

- ユーザの名前 : John Doe
- ユーザ ID : johndoe
- 電話機モデル : 6901

- プロトコル : SSCP
- 電話機上でリストされる MAC アドレス : 00127F576611
- 5 桁の社内電話番号 : 26640

Cisco Unified Communications Manager ユーザの追加

ここでは、Cisco Unified Communications Manager にユーザを追加する手順を説明します。使用しているオペレーティング システムと、ユーザの追加方法に応じて、この項の手順のいずれかに従ってください。

外部 LDAP ディレクトリからのユーザの追加

ユーザを LDAP ディレクトリ (Cisco Unified Communications Server 以外のディレクトリ) に追加した場合は、次の手順に従うことにより、そのディレクトリを、この同じユーザと電話機ユーザを追加している Cisco Unified Communications Manager にただちに同期化できます。

手順

-
- ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager にログインします。
 - ステップ 2 [システム (System)] > [LDAP] > [LDAP ディレクトリ (LDAP Directory)] の順に選択します。
 - ステップ 3 [検索 (Find)] ボタンを使用して、対象の LDAP ディレクトリを見つけます。
 - ステップ 4 LDAP ディレクトリ名をクリックします。
 - ステップ 5 [完全同期を今すぐ実施 (Perform Full Sync Now)] をクリックします。
(注) LDAP ディレクトリを Cisco Unified Communications Manager にただちに同期化する必要がない場合は、[LDAP ディレクトリ (LDAP Directory)] ウィンドウの [LDAP ディレクトリ同期スケジュール (LDAP Directory Synchronization Schedule)] により、次の自動同期化をいつ実行するかを決定します。ただし、新規ユーザをデバイスに関連付けるには、その前に同期を完了する必要があります。
 - ステップ 6 [電話機のセットアップ, \(3 ページ\)](#) に進みます。
-

Cisco Unified Communications Manager へのユーザの直接追加

LDAP ディレクトリを使用していない場合は、次の手順に従って、ユーザを Cisco Unified Communications Manager に直接追加できます。

手順

-
- ステップ 1** [ユーザ管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)] の順に選択します。
- ステップ 2** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 3** このウィンドウの [ユーザ情報 (User Information)] ペインで、次の情報を入力します。
- [ユーザ ID (User ID)] : エンドユーザの識別名を入力します。Cisco Unified Communications Manager では、ユーザ ID の作成後の変更はできません。使用できる特殊文字は、=、+、<、>、#、;、\、,、"、および空白です。
例 : johndoe
 - [パスワード (Password)] および [パスワードの確認 (Confirm Password)] : ユーザのパスワードとして、5つ以上の英数字または特殊文字を入力します。使用できる特殊文字は、=、+、<、>、#、;、\、,、"、および空白です。
 - [姓 (Last Name)] : ユーザの姓を入力します。使用できる特殊文字は、=、+、<、>、#、;、\、,、"、および空白です。
例 : doe
 - [電話番号 (Telephone Number)] : ユーザのプライマリ電話番号を入力します。ユーザは、電話機に複数の回線を接続できます。
例 : 26640 (John Doe の社内電話番号)
- ステップ 4** [保存 (Save)] をクリックします。
- ステップ 5** [電話機のセットアップ](#)、(3 ページ) の項に進みます。
-

電話機のセットアップ

ユーザの電話機モデルとプロトコルを確認するには、次の手順を実行します。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager から、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] の順に選択します。
- ステップ 2** [新規追加 (Add New)] をクリックします。
- ステップ 3** [電話のタイプ (Phone Type)] ドロップダウン リストからユーザの電話機モデルを選択し、[次へ (Next)] をクリックします。

[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウが表示されます。

(注) [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウでは、ほとんどのフィールドにデフォルト値を使用できます。

ステップ 4 必須フィールドについて、設定できる値は次のとおりです。

(注) 設定は、ユーザ *johndoe* の例に基づいています。

a) このウィンドウの [デバイス情報 (Device Information)] ペイン :

MAC アドレス (MAC Address)

電話機の背面にあるステッカーに記載されている、電話機の MAC アドレスを入力します。

MAC アドレスの長さは、16 進数文字 12 個です。

例 : 00127F576611 (John Doe の電話機の MAC アドレス)

説明 (Description)

これは、役に立つ説明を入力できるオプションのフィールドです。この説明は、このユーザに関する情報検索が必要な場合に役立ちます。

デバイス プール (Device Pool)

この電話機を割り当てるデバイス プールを選択します。デバイス プールは、複数のデバイスに共通の特性 (リージョン、日時グループ、MLPP 情報など) のセットを定義します。

(注) デバイス プールは、Cisco Unified Communications Server の管理ページの [デバイス プール設定 (Device Pool Configuration)] ウィンドウで定義されます ([システム (System)] > [デバイスプール (Device Pool)]) 。

電話ボタン テンプレート (Phone Button Template)

ドロップダウンリストから、適切な電話ボタン テンプレートを選択します。電話ボタン テンプレートは、電話機の機能の設定を決定し、機能ボタンを押した後にダイヤルする既定の番号を識別します。機能の既定の番号を設定するには、Cisco Unified IP Phone 6911 の [電話ボタン テンプレート (Phone Button Template)] に移動します。テンプレートでは、1 は常に回線に割り当てられるため、システム管理者によって指定された既定の番号は、ボタンの番号から 1 を引いたものになります。

(注) 電話ボタン テンプレートは、Cisco Unified Communications Manager の [電話ボタン テンプレートの設定 (Phone Button Template Configuration)] ウィンドウで定義されます ([デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [電話ボタン テンプレート (Phone Button Template)]) 。検索フィールドと [検索 (Find)] ボタンを使用して、設定されているすべての電話ボタン テンプレートとその現在の設定を検索できます。

共通の電話プロファイル (Common Phone Profile)

ドロップダウンリストで、使用可能な共通の電話プロファイルのリストから共通の電話プロファイルを選択します。

- (注) 共通の電話プロファイルは、Cisco Unified Communications Manager の [共通の電話プロファイルの設定 (Common Phone Profile Configuration)] ウィンドウで定義されます ([デバイス (Device)] > [デバイスの設定 (Device Settings)] > [共通の電話プロファイル (Common Phone Profile)])。検索フィールドと [検索 (Find)] ボタンを使用して、設定されているすべての共通の電話プロファイルとその現在の設定を検索できます。

コーリングサーチスペース (Calling Search Space)

ドロップダウンリストから、適切なコーリングサーチスペース (CSS) を選択します。コーリングサーチスペースは、ダイヤルされた番号がどのようにルーティングされるかを検索できるパーティション (利用可能な一連の電話帳のようなもの) のリストから構成されています。デバイス用のコーリングサーチスペースと電話番号用のコーリングサーチスペースは併用することができます。電話番号の CSS は、デバイスの CSS に優先します。

- (注) コーリングサーチスペースは、Cisco Unified Communications Manager の [コーリングサーチスペースの設定 (Calling Search Space Configuration)] ウィンドウで定義されます ([コールルーティング (Calling routing)] > [コントロールのクラス (Class of Control)] > [コーリングサーチスペース (Calling Search Space)])。検索フィールドと [検索 (Find)] ボタンを使用して、設定されているすべてのコーリングサーチスペースとその現在の設定を検索できます。

ロケーション (Location)

この Cisco Unified IP Phone の適切な場所を選択します。

オーナーのユーザ ID (Owner User ID)

ドロップダウンリストから、割り当てられた電話ユーザのユーザ ID を選択します。

- b) このウィンドウの [プロトコル固有情報 (Protocol Specific Information)] ペインで、ドロップダウンリストから [デバイスセキュリティプロファイル (Device Security Profile)] を選択します。電話機のセキュリティ機能を有効にするには、デバイスタイプとプロトコルに応じた新しいセキュリティプロファイルを設定し、電話機に適用する必要があります。電話機でセキュリティがサポートされていない場合は、非セキュアプロファイルを選択してください。プロファイルに含まれている設定を確認するには、[システム (System)] > [セキュリティプロファイル (Security Profile)] > [電話セキュリティプロファイル (Phone Security Profile)] の順に選択します。

- (注) 選択するセキュリティプロファイルは、企業全体のセキュリティ戦略に基づいている必要があります。

- c) この電話機が Cisco エクステンションモビリティをサポートしている場合は、このウィンドウの [内線情報 (Extension Information)] ペインで、[エクステンションモビリティの有効化 (Enable Extension Mobility)] ボックスをオンにします。

- d) [保存 (Save)] をクリックします。

ステップ 5 回線を設定します。

- a) [電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウで、ウィンドウの左ペインにある [回線 1 (Line 1)] をクリックします。 [電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウが表示されます。
- b) [電話番号 (Directory Number)] フィールドで、ダイヤル可能な有効な番号を入力します。
(注) このフィールドには、[ユーザの設定 (User Configuration)] ウィンドウの [電話番号 (Telephone Number)] フィールドに表示されるのと同じ番号が表示されます。

例：上の例で、26640 はユーザ John Doe の電話番号です。

- c) [ルートパーティション (Route Partition)] ドロップダウンリストから、電話番号が属するパーティションを選択します。電話番号へのアクセスを制限しない場合、パーティションに対して [<なし> (<None>)] を選択します。
- d) [コーリング サーチ スペース (Calling Search Space)] ドロップダウンリスト ([電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウの [電話番号の設定 (Directory Number Settings)] ペイン) から、適切なコーリング サーチ スペースを選択します。コーリング サーチ スペースは、この電話番号からコールを発信できる番号を検索するための、パーティションのリストで構成されます。選択した値は、この電話番号を使用するすべてのデバイスに適用されます。
- e) [電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウの [コールピックアップとコール転送の設定 (Call Pickup and Call Forward Settings)] ペインで、項目 ([不在転送 (Forward All)]、[話中転送 (内部) (Forward Busy Internal)] など) と、それに対応するコールの送信先を選択します。
例：内線コールと外線コールがビジー信号を受信した場合に、この回線のボイスメールに転送するには、[コールピックアップとコール転送の設定 (Call Pickup and Call Forward Settings)] ペインの左側の列で、[話中転送 (内部) (Forward Busy Internal)] と [話中転送 (外部) (Forward Busy External)] の横の [ボイスメール (Voice Mail)] ボックスをオンにします。
- f) [電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウの [デバイス...の回線 1 (Line 1 on Device...)] ペインで、次のパラメータを設定します。

表示 (内線発信者 ID フィールド) (Display (Internal Caller ID field))

このデバイスのユーザの名と姓を入力して、この名前がすべての内線コールに表示されるようにすることができます。このフィールドを空白にして、電話機の内線番号をシステムに表示させることもできます。

外線電話番号マスク (External Phone Number Mask)

この回線からコールが発信されたときに、発信者ID情報を送信するために使用される電話番号（またはマスク）を示します。

最大 24 個の番号と文字「X」を入力できます。文字 X は電話番号を表し、パターンの最後に使用する必要があります。

例：上に示す John Doe の内線番号の例で、マスクを 408902XXXX と指定すると、内線 6640 からの外線コールには、発信者の ID 番号 4089026640 が表示されます。

この設定は、右側にある [共有デバイス設定の更新 (Update Shared Device Settings)] チェックボックスをオンにして [選択対象を反映 (Propagate Selected)] ボタンをクリックしない限り、現在のデバイスにのみ適用されます。このチェックボックスは、この電話番号を他のデバイスと共有している場合にのみ表示されます。

- g) [保存 (Save)] をクリックします。
- h) このウィンドウの下部にある [エンドユーザの関連付け (Associate End Users)] をクリックして、設定している回線にユーザを関連付けます。
- i) [検索 (Find)] ボタンと [検索 (Search)] フィールドを使用してユーザを見つけた後、ユーザ名の横のボックスをオンにし、[選択項目の追加 (Add Selected)] をクリックします。
ユーザの名前とユーザ ID は、[電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウの [回線に関連付けられているユーザ (Users Associated With Line)] ペインに表示されます。
- j) [保存 (Save)] をクリックします。これでユーザが、電話機の回線 1 に関連付けられました。
- k) 電話機に 2 番目の回線がある場合は、回線 2 を設定します。
- l) ユーザをデバイスに関連付けます。
 - 1 [ユーザ管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)] の順に選択します。
 - 2 検索ボックスと [検索 (Find)] ボタンを使用して、追加したユーザを見つけます（たとえば、doe という姓で検索します）。
 - 3 ユーザ ID（たとえば、johndoe）をクリックします。[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウが表示されます。
 - 4 [デバイスの割り当て (Device Associations)] をクリックします。
 - 5 [検索 (Search)] フィールドと [検索 (Find)] ボタンを使用して、ユーザに関連付けるデバイスを見つけます。
 - 6 デバイスを選択し、[選択/変更の保存 (Save Selected/Changes)] をクリックします。これでユーザがデバイスに関連付けられます。
 - 7 画面の右上にある [ユーザの設定に戻る (Back to User)] 関連リンクの横の [移動 (Go)] ボタンをクリックします。

ステップ 6 エンドユーザの最終設定手順の実行、(8 ページ) に進みます。

エンドユーザの最終設定手順の実行

[エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ページが表示されていない場合は、[ユーザ管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)] の順に選択して、設定の最後の作業を行います。[検索 (Search)] フィールドと [検索 (Find)] ボタンを使用してユーザ (例: John Doe) を見つけた後、ユーザ ID をクリックして、そのユーザの [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] ウィンドウを開きます。[エンドユーザの設定 (End User configuration)] ウィンドウで、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1 画面の [電話番号の割り当て (Directory Number Associations)] ペインで、ドロップダウンリストからプライマリ内線を設定します。
 - ステップ 2 [モビリティ情報 (Mobility Information)] ペインで、[モビリティの有効化 (Enable Mobility)] ボックスをオンにします。
 - ステップ 3 [権限情報 (Permissions Information)] ペインで、[ユーザグループ (User Group)] ボタンを使用して、このユーザを任意のユーザグループに追加します。たとえば、[標準 CCM エンドユーザ (Standard CCM End Users)] グループとして定義されたグループにユーザを追加することもできます。
設定されているすべてのユーザグループを表示するには、[ユーザ管理 (User Management)] > [ユーザグループ (User Groups)] の順に選択します。
 - ステップ 4 [保存 (Save)] をクリックします。
-